

水俣病問題に係る懇談会現地開催の概要

7月21日(木)

出席委員：有馬座長、加藤委員、金平委員、鳥井委員、丸山委員、吉井委員

視 察 等	概 要
・「ほっとはうす」視察 ・水俣病関係団体からのヒアリング	加藤委員から活動内容などについて説明を受け、胎児性水俣病患者や御家族と懇談。 < 懇談内容 > ・地域とのつながり（小学生との交流）ができてきたことについて ・風呂に入れるようにするなど、「ほっとはうす」を住みやすい場所にしてきたい。 ・家族の高齢化について < 水俣病患者平和会 > ・チッソの繁栄と存続によって、認定患者が安定した生活を送れるようにしてほしい。 ・認定基準を変えて地域に混乱を招くべきではない。 その他、保健手帳拡充の早期実施、胎児性患者の施設の整備等について質疑があった。 < 水俣病患者連合会 > ・同じ原因で発症した人々を救済の仕方によって不必要に区別するのは問題 ・水俣病の病像を議論する場を設け、最高裁判決を基に判断条件を見直すべき ・患者の区分を特別立法によって、一つにまとめることも検討すべき その他、患者（団体）が分裂してきた歴史等について質疑があった。 < 水俣病被害者の会全国連絡会 > ・同じ被害には同じ補償を。 ・認定されない人について水俣病患者と認めるべき ・来年の水俣病犠牲者慰霊式での内閣総理大臣の謝罪を求める。 その他、団体が考える水俣病の定義等について質疑があった。 < 水俣病出水の会 > ・平成7年の政治解決の際に出水の会が対象団体から外されたのが屈辱 ・医療費全額負担を中心とした今回の行政救済では納得できない。 ・平成7年の政治解決と同様に、感覚障害だけの者に対する一時金260万円と団体加算金を払ってほしい。 その他、国立水俣病研究センターへの団体としての協力等について質疑があった。

7月26日(火)

出席委員：有馬座長、嘉田委員、加藤委員、金平委員、丸山委員、屋山委員、吉井委員

視 察 等	概 要
●「明水園」視察	施設と活動内容などについて質疑応答を行った後、施設内を視察 (質疑応答内容) ・資金面の見通しや今後の運営について
●船上から水俣を視察 (丸島漁港～ フェリー乗り場)	水俣病被害者多発地域である湯堂・茂道(袋湾一帯)を視察
●語り部講話	《金子スミ子さんの講話》 結婚し夫が発病したこと、子供が亡くなったことなどを中心としたお話 (質疑応答内容) ・胎児性水俣病患者を持つ家族の集まりについて ・「ほっとはうず」に通う胎児性水俣病患者の三男の健康状態について ・今後望むことについて 《杉本栄子さんの講話》 両親が水俣病になり地域から差別を受けたこと、水俣市に産廃処分場ができる予定があることなどを中心としたお話 (質疑応答内容) ・差別をした人がどのような人であったかについて ・子供を育てる際の苦労話について ・子供が受けた差別について ・水俣市に産業廃棄物処分場ができる予定があることについて

当初予定していた相思社歴史考証館の視察については、天候・飛行機の発着の遅れにより中止した。

